

安齋先生の技術通信

2010年
3月号



技術顧問・理事
安齋 正弘 先生

冬のオリンピックの最中の原稿作成です。前評判のわりには日本の成績は「いまいち」？でもまあ、外国が予想しているメダル数以上にはなるかも知れないのだから、善戦というわけか。それにしても例えメダル圏外の入賞だって大したものだ。

さて先だって東京ビッグサイトで開催された「建材フェア」に行ってきた。そこで色々魅力的なものに触れ、用意していったショルダーバッグに入りきれない程のカタログを持って帰ったが、それらのうちの一つを紹介します。

現在「断熱や結露」をテーマにこの通信を続けているので、その関連から取り上げてみようと思います。

場内を物色しながら目に止まった。随分フワフワした温かそうな断熱材だな、と足のむくままブースに近づく。すぐに係員が対応してくれて「断熱談義」が始まった。…。「ところで、これって防湿層はどうなっているの？」「実は防湿層不要の断熱材なんです。」との答え。「エッ？」という訳で更に話が弾む。

もともと、これまでの「袋タイプ」は室内側に設ける防湿層ってどれだけ効果が期待出来るのかが、小生の以前からの疑問だった。(胴縁に留める石膏ボード用釘が防湿層を貫通したり、施工の段階でいとも簡単に破けてしまうもろい層ではないか。) 話を聞くに従って興味がどんどんそそられてきた！以下その特徴等を羅列しておきます。

A: 商品名 … 「サーモウル」【原料は羊毛とポリエステルのリサイクル材の特殊混合材】

B: 認 定 … 国土交通大臣特別評価方法認定、番号662(防露認定)

〔認定概要〕 ・ 木造軸組工法の一戸建て及び共同住宅、階数3以下。

・ 対称部位: 外壁/耐力壁30分耐火(防火認定、PC030BE—0400)

・ 対称品目: 「エクセレント」、「スタンダード」…ともに「タイプB」

・ 地域区分: III、IV、V 地域。(つまり「地域III以南」に限られる)【室内側、防湿層不要】

- C: 特徴等 …
1. ①断熱効果のみならず、
 - ②空気清浄(ホルムアルデヒドや消臭)機能。(1時間での除去率97.2%…北里環境科学センター)
 - ③除湿・加湿(木材同様)機能と安定性。(1年を通して湿度50%前後に保てるらしい)
 - ④優れた吸音機能。(オーディオ分野でも利用されている)
 2. 簡単施工。(チクチクしないので素手で可能、小さくちぎれるので窓回り等の狭い部分への充填可能
→従って残材なし、リフォームにも最適)
 3. 安全材料。(現時点で世界で最も安全・無害と評価される防虫処理が施されている)
 4. 環境配慮の循環型製品。(回収⇒再度原料化⇒再生品を実現)(大幅なCO2削減)
 5. 空調を含む電気使用量を大幅削減。(光熱費をおよそ50%カット)
 6. 前述の各性能・機能が持続する。(吸湿した水分により性能低下や劣化が生じない)
 7. 次世代省エネルギー基準等級4適合。(長期優良住宅適合断熱材、住宅版エコポイント対象製品)
 8. 瑕疵補償の設定可能。(一般補償:10年間、優良補償:50年間)【業界初】

というのが、カタログが謳っている「売り」をまとめたものです。

この段階でインターネットに切り替え、更に内容を見たところ以下のような点が明らかになりました。

D: 製品のラインナップと適合基準との関連表

設置する地域区分により、使用部位別に断熱材の選定・組合せ等が用意されている。(表では地域区分IIまで対称地域が広げられている。勿論IIの地域では長期優良住宅適合等の対象外なのでしょうけど)

E: 施工方法を見ると、注意事項のうち次の2点が重要らしい

- ① ロール巻きになっている断熱材の【表側を室内側に、裏(内)側を屋外側に向けて】設置すること
- ② 「壁・勾配屋根」には通気層を設けること(特に北側は確実に！)

とある。兎に角小生の感じた魅力は、あのフワフワした感触と「防湿層不要」だ。ボード用釘が刺さってもお構いなしが何とも嬉しく思う。価格はどこにも載っていなかったが、関心のある方は以下にてご確認ください。

(株)コスモプロジェクト 【<http://www.cosmo-project.co.jp>】

(九州本社) TEL:0944-74-6088 FAX:0944-85-2868 MAIL:info@cosmo-project.co.jp

(東京支社) TEL:03-5304-2608 FAX:03-5304-2568 MAIL:takuto-s@cosmo-project.co.jp

技術的なご質問・ご相談などはこちらへ！
TEL: 048-224-8316 (川口事務局)

メール: question@mokutaikyo.com
FAX: 048-224-8315